

## ◎台風により発生した ゴミの処理方法・場所について

今回の台風により家庭の畳や家電などで廃棄処分するものがあるかと思えます。それらのゴミの処理場と処理方法についてお知らせします。

■家電4品目・・・家電リサイクル法に該当するテレビ、冷蔵庫（冷凍庫）、洗濯機、エアコンは市では処分できません。お近くの電器店等にお問い合わせください。

■一般のゴミ・・・『ごみの出し方便利帳』を参考に市の指定袋に入れ、ごみ収集場や伊豆市清掃センターおよび伊豆市戸田村衛生センターに出してください。

### 【問合せ】

環境衛生課 ☎ (72) 9857

清掃センター ☎ (72) 0163

伊豆市戸田村衛生センター ☎ (94) 2305

## ◎住宅が浸水した方へ 消毒液の配布について

洪水により浸水した土地・家屋等の消毒薬を配布しています。配布をご希望される方は、本庁環境衛生課までおこしください。

### 【問合せ】

環境衛生課 ☎ (72) 9857

土肥支所市民サービス課 ☎ (98) 3103

天城湯ヶ島支所市民サービス課 ☎ (85) 2603

中伊豆支所市民サービス課 ☎ (83) 5487

## 『台風22号の被害について』

伊豆市長 大城 伸彦

この度の台風22号は、行楽シーズン目の伊豆市に、近年まれに見る甚大な被害を残しました。修善寺地区では、桂川が氾濫し、修善寺温泉のシンボルである「独鈷の湯」のあづま屋が流失、周辺では床上浸水、倒木、崖崩れ等の被害が相次ぎました。また、土肥地区・中伊豆地区・天城湯ヶ島地区においても、土砂崩れによる国・県道の崩壊、家屋の全壊・半壊・床上床下浸水、停電、断水、河川護岸の崩壊等、大小合わせると約500箇所にもなる大被害となりました。

被災されました方々には、心より御見舞い申し上げますと共に、国県の力も借りて全力を挙げて復旧に努力する所存です。

この地方は、狩野川台風以降の治山・治水対策

により、対災害強度は大幅に改善されたものの完全ではありません。また、東海地震の切迫性も叫ばれており、伝統ある温泉場のイメージを保ちつつ、防災力を強化するにはどうすべきか、十分に検討する必要があると思います。

災害を視察した専門家からは、「景観も大事だが、根本的な防災対策を検討する必要があるのではないか」との指摘がありました。伊豆は、景観の維持と防災対策を真剣に考え、防災力を備えた観光地となることが強く求められています。



石川静岡県知事も市内数ヶ所を視察に

## 主な 被害状況一覧

避難勧告		人的被害		建物被害					その他被害			
対象人数	避難人数	死者	負傷者	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	道路被害	橋梁被害	地盤被害	交通関係被害
6,321	124	1	1	2	1	146	26	197	231	10	134	3